

☆(R5.8.31 更新) 朝陽小学校理科室床板張替え作業を  
岸城・野村グループ共同作業として実施しました。(R5.7.10  
～R5.8.8)



老朽化した理科室の床板。おそらく50年以上たっていると思われます。所々剥がれ波打ちとても危険です。

岸和田市の校務員では、老朽化した教室の床板をグループまたはブロック共同作業として、主に夏季休業中に張替え作業を行っています。

朝陽小学校理科室もグループ共同作業として、本校の校務員をはじめ、岸城中、岸城夜間中、城内小、浜小、野村中、大宮小の各校務員が集まり、床板張替え作業を行いました。



7月18日、業者さんが運んできた床材 55 梱包、下地用ベニヤ板 60 枚です。



30cm四方の床材を一枚一枚手作業で剥がしていきます。床板を留めるための錆びた金具が縦横にあり、作業の困難性を極めます。その上理科室はエアコンもなく、暑さとの闘いで体力の消耗が著しいです。

ちなみに夏季休業中前に、あらかじめ本校校務員が実験機の水道・電気配線の撤去、ガス業者がガス配管撤去を行っています。



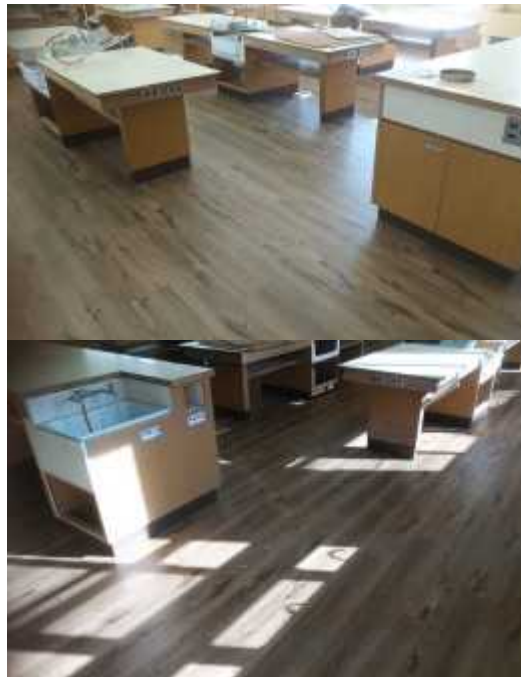
床材を剥がし終わるのに3日間かかりました。ただこのままでは下地材、床材を張ることはできません。先にも述べたように床材を留める錆びた金物が縦横に埋まっています。



そこで、除去することを試みましたが、困難であると判断し、8月1日からグループ作業として左の画像のようにハンマーでたたいてコンクリート下地に添わせる作業を行いました。幸い厚みがないので下地への影響はさほどないです。エアコンがない中でのこの作業はとても厳しかったです。



上記の作業を1日かけて行い、いよいよ新しい材料の取付になります。まず、湿気防止のシートを敷き、その上から下地のベニヤ板を取り付けていきます。



敷き詰めた下地に段差がないか確認をし、新しい床材を敷きます。ガス管・水道管・電気配線があるので、それらに注意しながら敷き詰めていきました。

完成後は段差もない安全な教室に生まれ変わりました。2 学期からは、安心して理科室を使用することができるでしょう。

グループ作業として暑さ厳しい中 3 日間協力していただいた他校の校務員の皆様、ありがとうございました。